

**令和8年度かごしま農山漁村発イノベーション推進事業
6次産業化事業者等スキルアップ支援業務委託 企画提案募集要領**

1 公募の目的

農山漁村のあらゆる地域資源を活用した取組を実施する6次産業化事業者、県産農林水産物を活用する食品加工事業者（以下「6次産業化事業者等」という。）の経営改善や経営全体の付加価値向上の取組を支援するため、デジタル技術を活用したマーケティングや展示・商談会出展等に必要な知見を学べる人材育成研修会及び個別相談会を行うとともに、県内商談会や、県内外での販売機会の提供を通じて、商品の販路開拓やブラッシュアップ等を支援する。

また、農業者や食品加工事業者等が交流できる産地交流会を行う。

2 委託業務の内容

別添仕様書（案）のとおり

3 業務を担当する部局の名称及び問合せ先

担 当：鹿児島県 農政部 農政課 かごしまの食輸出・ブランド戦略室
6次産業化支援係 西、新屋

住 所：〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

電 話：099-286-3179

F A X：099-286-5587

E-mail：6jika@pref.kagoshima.lg.jp

4 応募に係る資格要件

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 経営不振の状態（会社更生法（平成14年法律第154号）第17条第1項に基づき更生手続開始の申立てをしたとき、民事再生法（平成11年法律第225号）第21条第1項に基づき再生手続開始の申立てをしたとき、手形又は小切手が不渡りになったとき等。ただし、鹿児島県が経営不振の状態を脱したと認めた場合を除く。）にない者であること。
- (3) 鹿児島県から指名停止措置を受けていない者であること。
- (4) 暴力団等を構成員に含まない、また、暴力団等と取引がないこと。
- (5) 都道府県税、消費税及び地方消費税を滞納していない者であること。
- (6) 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと。

5 企画提案の募集期間

令和8年5月8日（金）～令和8年5月27日（水）

6 企画提案書等の提出場所等

- (1) 提出場所
3に同じ
- (2) 提出方法
持参又は郵便により提出（郵便により提出する場合は、配達を証明することができる郵便とすること。）
- (3) 提出期限
令和8年5月27日（水）午後5時必着
- (4) 提出書類
ア 応募書（様式1）
イ 企画提案書（任意様式）
ウ 費用見積書（任意様式）
エ 企画提案者の企業概要パンフレット等
オ 誓約書及び役員等名簿（様式2）
- (5) 提出部数
6の(4)ア、オ 原本1部
6の(4)イ～エ 4部（うち原本1部）
- (6) 提出期限後の提出書類の再提出及び差替えは認めない。
- (7) 提出書類に用いる言語、通貨及び単位は、日本語、日本円、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位に限る。

7 企画提案書

- (1) 様式は自由とする。ただし、A4サイズ（縦横は問わない）とすること。
- (2) 企画提案書は1者につき1案に限る。
- (3) 記載内容
次にア～エに掲げる事項を含む内容とする。
ア 企画案
 - ① 人材育成研修会の研修内容や講師等に関する提案（仕様書5(1)関係）
 - ② 個別研修会の開催方法や内容に関する提案（仕様書5(2)関係）
 - ③ 県内商談会の開催方法や内容に関する提案（仕様書5(3)関係）
 - ④ テストマーケティングの開催方法や内容に関する提案（仕様書5(4)関係）
 - ⑤ 販売機会の提供に関する開催方法や内容に関する提案（仕様書5(5)関係）
 - ⑥ 産地交流会の開催方法や内容等に関する提案（仕様書5(6)関係）
 - ⑦ その他、当事業の目的を達成するために効果的な提案
イ 事業実施スケジュール
ウ 委託業務の遂行に係る実施体制
エ 類似業務の実績

8 費用見積書

- (1) 業務に要する経費の見積については内訳を明記すること。

(2) (1)の見積額（消費税含む）は、次に掲げる予算額の範囲内であること。

金額 5,768千円

※ 人材育成研修・個別研修に係る経費は2,038千円以上とし、人材育成研修・個別研修以外の経費については、3,730千円を超えないものとする。

(3) 正式な見積については、審査の結果を踏まえ、最も優れた企画を提案した応募者に改めて依頼する。

9 質問の受付及び回答

本企画提案競技に関して質問事項があるときは、質問書（様式3号）を提出し、回答を受けることができる。なお、電話、来訪等による質問は受け付けない。

(1) 提出場所

3に同じ

(2) 提出方法

電子メールによる提出すること。

(3) 提出期限

令和8年5月18日（月）午後5時必着

(4) 回答

質問書の回答は、提案書を提出した者全てに電子メールにて回答する。

10 企画提案の審査方法

別に定める審査委員により組織された企画審査委員会が、8の(1)の見積額が8の(2)の予算額以内の提案を審査する。

企画審査委員会は、提出書類を用いて、別紙に定める「審査基準」に従って審査を行い、順位を定め、推薦委員会に報告し、契約者を決定する。

11 審査結果

企画審査委員会の審査結果は、各提案者に対し電子メール等により通知する。

なお、審査結果の内容に対する異議申立は受け付けない。

12 失格事項

(1) 参加資格のない者がした提案は、無効とする。

(2) この要領に定める手続以外の手法により、提案者が審査委員又は関係者に本企画提案競技に関する援助を直接又は間接に求めた場合、その提案者の提案は無効とする。

(3) 提出された提案書類が次に掲げる事項のいずれかに該当する場合、提案は無効となることがある。

ア 提出方法、提出先及び提出期限に適合しないもの

イ 作成様式及び記載上の注意事項に示された内容に適合しないもの

ウ 記載すべき内容の全部又は一部が記載されていないもの

エ 記載すべき事項以外の内容が記載されているもの

オ 虚偽の内容が記載されているもの

13 その他

(1) 契約

企画審査委員会から報告のあった企画提案書等の提案者が、業務遂行上、必要な実施体制を有しているか推薦委員会において審査した上で、県は提案者の代表者と業務委託契約の締結交渉を行う。原則として提案された事業内容とするが、必要に応じて県との協議により提案された企画内容の修正・変更を行い、委託契約を締結するものとする。

なお、この企画提案競技に参加した者が地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定のいずれかに該当することとなった場合、契約の締結を行わないことがある。

(2) その他

ア 提案書類の作成、提出に要する経費は、全て提案者の負担とする。

イ 提出書類は、提案者に無断で使用しないが、審査作業に必要な範囲において複製を作成するものとする。

ウ 提出された提出書類は返却しない。

エ 本業務の実施に当たっては、業務を統括する責任者に定め、企画提案書に記載するものとし、特別の理由があると認められた場合を除き変更することができないものとする。

オ 業務の全部を第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

また、主たる部分以外の業務などの一部を第三者に委任し、又は請け負わせる場合は、あらかじめ県の承諾を得ること。